

【市町村控え】

都市再生整備計画の妥当性検証シート

※この様式は、市町村が自ら都市再生整備計画の妥当性を検証するためのチェックシートであり、国への提出様式ではありません。

地方整備局名	都道府県名	市町村名	地区名

注意点・シートは、表1 義務的条件、表2 努力要件 の2つで構成されている

表1 義務的条件

注意点・客観的評価基準における項目のうち、「ひとつでも適合しない場合は、採択しない」もの。

I. 目標の妥当性

①都市再生基本方針との適合等	チェック欄	内容欄
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。 ・まちづくり目標に該当するものがあれば数字をチェック欄に記入し、最も適合する数字1つを○で囲むこと 1. 中心市街地活性化 2. 防災 3. 少子高齢化 4. 人口定着 5. 観光・交流 6. アメニティ 7. 交通利便性 8. 都市活力 9. 地域コミュニティ 10. その他		目標を転記
2) 上位計画等と整合性が確保されている。 ・上位計画・関連計画として整合性が確保されている計画書の数字をチェック欄に記入すること 1. 市町村総合計画 2. 都道府県長期計画		計画書名・発行年

II. 計画の効果・効率性

④事業の効果	チェック欄	内容欄
1) 十分な事業効果が確認されている。 ・費用対効果の分析結果について、「費用対効果分析シート」より、分析手法(①から④)をチェック欄に、分析結果(賛同率、費用便益比)を内容欄に記入すること		

III. 計画の実現可能性

⑥円滑な事業執行の環境	チェック欄	内容欄
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。 ・事業着手の見込みについて、該当するものがあれば数字をチェック欄に記入し、特記事項があれば内容欄に記入すること 1. 都市計画決定、事業認可手続き済み 2. 市町村議会への報告、了解 3. 計画区域内の住民の合意 4. 関連事業等の施行予定者の同意 5. その他		

表2 努力要件

注意点
 ・客観評価基準で絶対評価に用いた以外の項目で「総合評価により優劣をつける」もの。
 ・従って、部分的に劣っているととしても、それをもって直ちに採択しないものとはしない。
 ・最終的な評価者は国であり、都市再生整備計画により評価する。市町村と判断が異なる場合は国の判断を優先する。なお、評価のずれについても採否判断において考慮するので、実態以上のアピールは不適切である。

【記入要領】

注1：「別表2 検証項目の判断基準」に基づく評価結果をABCで記載すること。

注2：「数値目標と事業の関係表示シート」に基づき、「別表2 検証項目の判断基準」に基づく評価結果をABCで記載すること。

I. 目標の妥当性

①都市再生基本方針との適合等	チェック欄	内容欄
2) 上位計画等と整合性が確保されている。 ・国の計画、国が支援すべき重要課題について該当するものがあれば数字をチェック欄に記入すること 1. 都市再生緊急整備地域 2. 構造改革特別区域 3. 地域再生計画 4. 全国都市再生モデル調査 5. 被災市街地・復興推進地域 6. 中心市街地活性化計画 7. その他、国の政策テーマなど		計画書名・発行年
②地域の課題への対応	チェック欄	内容欄
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。 ・地域の課題とまちづくりの目標の整合性について、チェック欄に記入すること	注1	地域の課題を略記
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置付けが高い。 ・市町村が作成する次の法定計画がある場合は数字をチェック欄に記入すること 1. 交通バリアフリー法の特定経路を含む 2. 景観法に基づく景観形成地区を含む 3. 中心市街地法に基づく基本計画の範囲を含む 4. 市街地の拡大、既成市街地からの都市機能の拡散防止のための規制誘導措置の実施有無 5. (適宜追加)		計画書名・発行年

II. 計画の効果・効率性

③目標と事業内容の整合性等	チェック欄	内容欄
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。 ・まちづくりの目標と指標の整合性について、チェック欄に記入すること	注2	
・まちづくりの目標と数値目標の整合性について、チェック欄に記入すること	注2	
・まちづくりの目標を表現する指標・数値目標の設定の工夫があれば、チェック欄に有りと記入し、内容欄に工夫を略記すること		

③目標と事業内容の整合性等 つづき	チェック欄	内容欄
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。 ・指標・数値目標と事業内容の整合性についてチェック欄に記入すること	注 2	
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。 ・目標及び事業内容と計画区域との整合性について、まちづくりの集中と選択がなされているかを、チェック欄に記入すること	注 1	
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。 ・客観的な指標・数値目標の市民理解の可能性について、チェック欄に記入すること	注 1	
5) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。 ・既存施設の活用、ソフト事業の重視、関連施策との連携等について、チェック欄に記入するとともに、下記の項目に該当する提案事業があれば、数字及び提案事業名を内容欄に記入すること 1. 既存の枠組みにとらわれない先導性 2. 地域資源を活用した事業 3. 既存施設の有効活用・再生利用 4. ハード事業、ソフト事業連携で効率的実施 5. 他省庁事業や民間事業を関連事業で連携 6. 住民・NPO等のまちづくり活動と協働 7. その他	注 1	

④事業の効果	チェック欄	内容欄
1) 十分な事業効果が確認されている ・需要予測に基づいた計画作成について、チェック欄に記入すること	注 1	
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。 ・基幹事業間、基幹事業と提案事業及び基幹事業と関連事業間の相乗効果による、目標の達成の可能性向上について、チェック欄に記入すること	注 1	
・事業地区の周辺や関連する事業領域への波及効果の見込みについて、チェック欄に記入すること	注 1	
・民間企業等の投資の見込みがあれば、チェック欄に有りとし、内容欄に内容等を略記すること		

Ⅲ. 計画の実現可能性

⑤地元の熱意	チェック欄	内容欄
1) まちづくりに向けた機運がある。 ・地元のまちづくりに向けた機運について、チェック欄に記入すること	注1	
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。 ・事業内容についての住民等の協力があれば、チェック欄に有りとし、内容欄に協力内容を具体的に記述すること		
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。 ・住民等のまちづくり活動の実績があれば、チェック欄に有りとし、内容欄にまちづくり活動の実績を具体的に記述すること		
・事業終了後の継続的なまちづくりの予定について、チェック欄に記入すること	注1	

⑥円滑な事業執行の環境	チェック欄	内容欄
2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。 ・交付期間中の計画の管理の予定について、以下に該当すれば、チェック欄に数字を記入すること 1. モニタリング 2. 庁内モニタリング組織 3. まちづくり協議会 4. 継続的広報 5. その他		
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。 ・住民等との計画合意について、チェック欄に記入すること	注1	
・広報誌等による住民側へ周知を行っている場合、チェック欄に有りとし、内容欄に具体的に記入すること		
・説明会等による住民側へ説明を行っている場合、チェック欄に有りとし、内容欄に具体的に記入すること		

その他

特記事項	チェック欄	内容欄
・下記に該当する特記事項があれば、数字をチェック欄に、具体内容を内容欄に記入すること 1. 既存施設活用や事業連携の特記事項 2. 都市再生整備計画策定の工夫の特記事項 3. その他のまちづくり関連の事項での特記事項		